

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プラザクリエイト

コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 大橋 正信

TEL 03-3532-8826

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,905	△3.8	△413	—	△438	—	△452	—
26年3月期第2四半期	8,218	0.1	△325	—	△312	—	△313	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △431百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △296百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△32.69	—
26年3月期第2四半期	△27.35	—

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	13,153	3,167	24.1	228.93
26年3月期	11,574	3,714	32.1	268.47

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,167百万円 26年3月期 3,714百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

1. 平成26年3月期期末配当金の内訳(普通配当20円 設立25年記念配当5円)

2. 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成26年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△0.7	500	△3.2	500	△0.5	300	△2.9	21.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 4社 (社名) 株式会社プラザクリエイトモバイルリング、株式会社プラザハート、株式会社フォトネット、株式会社Qlix

当第2四半期連結会計期間において、株式会社フォトネットは清算したため、連結の範囲から除外しております。
また、株式会社プラザクリエイトモバイルリング、株式会社プラザハート及び株式会社Qlixは、当社と吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	13,836,258 株	26年3月期	13,836,258 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	501 株	26年3月期	501 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	13,835,757 株	26年3月期2Q	11,479,232 株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、「(3) 連結業績予想など将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、従来「イメージング事業」としていた報告セグメントの名称を、第1四半期連結会計期間より、「プリント事業」へ変更しております。また、当社グループは、業務の効率化を図ることを主な目的として、平成26年4月1日付けで、株式会社プラザクリエイトモバイルリング及び株式会社プラザハートは、株式会社プラザクリエイトストアーズを承継会社とする吸収分割の方法で事業を承継し、さらに、平成26年7月1日付けで、分割後の株式会社プラザクリエイトモバイルリング及び株式会社プラザハート並びに株式会社Q1ixは、当社と吸収合併の方法で子会社の事業再編を実施しました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、プリント事業において、「フォト&モア」への取り組みや「なんでもダビングサービス」の受付体制の強化などにより、直営店の既存店売上高が前年同期比100%を超えるなど売上高は堅調に推移いたしました。一方、モバイル事業においては消費税率引上げ後、駆け込み需要の反動により売上高の減少による影響がありましたが、黒字体質は定着し収益貢献を担う事業へと成長しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、79億05百万円（前年同期比3.8%減）となりました。利益面においては、なんでもダビングサービスの受付体制の強化などの再構築費用及び販促活動費用、当社とビスタプリント社との資本業務提携の一環として、当社グループでのビスタプリント製品の取り扱い準備費用及び新たなコンセプトの店舗開発による先行費用などにより営業損失4億13百万円（前年同期：営業損失3億25百万円）、経常損失4億38百万円（前年同期：経常損失3億12百万円）、四半期純損失4億52百万円（前年同期：四半期純損失3億13百万円）となりました。

セグメント別では、プリント事業は、売上高40億98百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント損益は4億98百万円の損失（前年同期：2億94百万円の損失）となりました。

モバイル事業は、売上高37億28百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益76百万円（前年同期比329.7%増）となりました。

その他の事業は、売上高79百万円（前年同期比67.7%減）、セグメント損益は16百万円の損失（前年同期：35百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は131億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億78百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が20億94百万円増加し、受取手形及び売掛金が7億34百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の額は99億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億25百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2億99百万円減少、未払金の減少などにより流動負債その他が3億61百万円減少し、短期借入金及び長期借入金がそれぞれ24億47百万円増加、5億7百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は31億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億47百万円の減少となりました。主な要因は、配当金の支払額1億15百万円、四半期純損失4億52百万円などにより利益剰余金が5億67百万円減少したことなどによるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の32.1%から24.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ20億94百万円増加し、42億20百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が41百万円増加し2億19百万円の支出(前年同期比23.3%増)となりました。主な要因は、売上債権の増減による収入の増加が5億54百万円となったものの、税金等調整前四半期純損失が1億26百万円増加し、仕入債務の増減による支出の増加が1億69百万円、未払金の減少などにより営業活動によるキャッシュ・フローその他の支出の増加2億72百万円などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が3億67百万円増加し3億99百万円の支出(前年同期 32百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の増加1億46百万円、投資有価証券の売却による収入の減少1億68百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が27億35百万円増加し27億12百万円の収入(前年同期 22百万円の支出)となりました。主な要因は、短期借入金の増減による収入の増加24億15百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想値に変更はございません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,125,725	4,220,285
受取手形及び売掛金	1,875,092	1,140,988
商品及び製品	1,185,640	1,296,744
原材料及び貯蔵品	163,900	167,732
その他	664,841	646,102
貸倒引当金	△357	△357
流動資産合計	6,014,842	7,471,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,252,382	2,218,650
減価償却累計額	△1,562,690	△1,527,987
建物及び構築物(純額)	689,691	690,662
機械装置及び運搬具	4,486,236	4,063,393
減価償却累計額	△4,300,475	△3,895,181
機械装置及び運搬具(純額)	185,760	168,212
土地	1,364,215	1,364,215
その他	1,612,854	1,507,312
減価償却累計額	△1,290,202	△1,101,180
その他(純額)	322,651	406,132
有形固定資産合計	2,562,319	2,629,222
無形固定資産		
その他	320,340	352,439
無形固定資産合計	320,340	352,439
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,822,857	1,851,357
その他	851,960	847,948
貸倒引当金	△13,839	△12,731
投資その他の資産合計	2,660,978	2,686,575
固定資産合計	5,543,638	5,668,237
繰延資産		
社債発行費	15,638	13,282
繰延資産合計	15,638	13,282
資産合計	11,574,118	13,153,016

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,457,338	1,158,228
短期借入金	1,644,484	4,092,228
1年内償還予定の社債	210,000	210,000
未払法人税等	23,780	11,108
賞与引当金	87,858	86,394
その他	1,169,256	808,108
流動負債合計	4,592,717	6,366,068
固定負債		
社債	530,000	425,000
長期借入金	2,078,217	2,585,722
退職給付に係る負債	134,806	119,758
長期預り保証金	315,443	293,694
その他	208,490	195,352
固定負債合計	3,266,957	3,619,527
負債合計	7,859,675	9,985,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,187,511	1,187,511
利益剰余金	2,396,135	1,828,603
自己株式	△99	△99
株主資本合計	3,683,547	3,116,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,895	51,405
その他の包括利益累計額合計	30,895	51,405
純資産合計	3,714,443	3,167,421
負債純資産合計	11,574,118	13,153,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,218,849	7,905,989
売上原価	4,920,296	4,752,695
売上総利益	3,298,553	3,153,294
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	449,918	316,438
給料手当及び賞与	686,615	673,188
賞与引当金繰入額	79,913	84,807
雑給	638,703	656,183
賃借料	595,891	595,667
その他	1,173,219	1,240,518
販売費及び一般管理費合計	3,624,262	3,566,804
営業損失(△)	△325,708	△413,510
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,276	2,303
協賛金収入	3,957	13,276
その他	48,455	36,911
営業外収益合計	55,688	52,491
営業外費用		
支払利息	38,457	22,852
持分法による投資損失	—	47,115
その他	3,670	7,463
営業外費用合計	42,128	77,431
経常損失(△)	△312,148	△438,450
特別利益		
固定資産売却益	18,701	14,697
投資有価証券売却益	31,500	—
特別利益合計	50,201	14,697
特別損失		
減損損失	42,585	12,637
店舗閉鎖損失	8,061	5,346
投資有価証券評価損	2,168	—
特別損失合計	52,814	17,984
税金等調整前四半期純損失(△)	△314,760	△441,738
法人税、住民税及び事業税	13,576	11,232
法人税等調整額	△14,389	△736
法人税等合計	△812	10,495
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△313,948	△452,233
四半期純損失(△)	△313,948	△452,233

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△313,948	△452,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,537	20,510
その他の包括利益合計	17,537	20,510
四半期包括利益	△296,410	△431,723
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△296,410	△431,723
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△314,760	△441,738
減価償却費	238,647	188,408
減損損失	42,585	12,637
のれん償却額	549	549
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,396	△1,108
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,842	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△15,048
受取利息及び受取配当金	△3,276	△2,303
支払利息	38,457	22,852
持分法による投資損益(△は益)	—	47,115
固定資産売却損益(△は益)	△18,701	△14,697
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△29,331	—
売上債権の増減額(△は増加)	181,042	735,483
たな卸資産の増減額(△は増加)	△93,102	△114,936
仕入債務の増減額(△は減少)	△129,494	△299,110
その他	△20,488	△293,471
小計	△119,113	△175,364
利息及び配当金の受取額	3,270	2,290
利息の支払額	△37,439	△22,659
法人税等の支払額	△24,781	△23,904
営業活動によるキャッシュ・フロー	△178,064	△219,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△190,746	△336,771
有形固定資産の売却による収入	39,225	38,544
無形固定資産の取得による支出	△78,621	△48,897
投資有価証券の売却による収入	168,468	—
敷金及び保証金の回収による収入	100,181	65,136
その他	△71,691	△117,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,183	△399,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△198,000	2,217,200
長期借入れによる収入	1,220,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,196,017	△661,951
社債の発行による収入	296,225	—
社債の償還による支出	△50,000	△105,000
自己株式の取得による支出	△23,122	—
配当金の支払額	△38,346	△115,017
リース債務の返済による支出	△23,753	△22,338
その他	△9,571	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,585	2,712,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	522	1,096
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△232,310	2,094,636
現金及び現金同等物の期首残高	1,934,071	2,125,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,701,760	4,220,285

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プリント	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,982,143	3,989,363	7,971,506	247,342	8,218,849	—	8,218,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,740	—	23,740	—	23,740	△23,740	—
計	4,005,883	3,989,363	7,995,247	247,342	8,242,590	△23,740	8,218,849
セグメント利益又は損失 (△)	△294,969	17,707	△277,262	△35,252	△312,514	366	△312,148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ブライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において42,545千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プリント	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,098,013	3,728,170	7,826,183	79,806	7,905,989	-	7,905,989
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,385	-	25,385	-	25,385	△25,385	-
計	4,123,399	3,728,170	7,851,569	79,806	7,931,375	△25,385	7,905,989
セグメント利益又は損失(△)	△498,129	76,088	△422,040	△16,900	△438,941	490	△438,450

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において4,068千円、「モバイル事業」において5,516千円であります。